

## 牧之原市立榛原中学校 創立50周年記念式典 式辞

本日、本校創立50周年記念式典を開催するにあたり、リモートではありますが、牧之原市長の杉本基久雄様をはじめ、同窓会長様、歴代校長ならびに、PTA会長様、学校運営協議会の皆様にご視聴いただきながら、開催できることに心から感謝申し上げます。ありがとうございます。

本来、昨年度が開校から50年の節目の年でありましたが、新型コロナウイルスのまん延により、実施することができませんでした。しかし、同窓会長様を始めとする本校関係者から、1年遅れでも、50年の節目をお祝いする式典をぜひ開催してほしいという熱い思いを受けて、本年度実施することとなりました。新型コロナウイルスの猛威は、予想を遙かに超え、学校の日常を大きく変えました。そんな中、オンラインで式典が実施できるようになったのもギガスクール構想の一貫で牧之原市がICT環境の充実を進めてくださったお陰です。コロナによってできなくなったことを嘆くよりも、コロナによって新たな方法でできるようになったことを生かしていくといった発想を大切にしながら今後の榛中教育に一層邁進してまいりたいと思います。

さて、記念式典開催にあたり、ぜひ榛中生に知っておいてほしいことや今後意識してほしいことについて話をします。

榛原中学校は昭和46年に川崎中・勝間田中・坂部中三校の統合によって榛原中学校が誕生しました。当時は三教場に分かれて分散授業を行っていましたが、昭和48年にこの場所に新校舎が完成し、入校式を得て、この地で榛原中としての歴史が始まりました。

昨年度までに14,544人の卒業生を送り出していますが、多くの先輩達は様々な所で活躍されており、郷土である牧之原市でも産業や行政等で中心的な活躍をされている先輩方が数多くいらっしゃいます。

先輩方が中学校時代に活躍された様子は、中央廊下に飾られた賞状やトロフィー楯などからも感じ取ることができますが、輝かしい活躍を県内外に発信していただいています。

また、地域の多くの方々が、様々な形で学校への支援を惜しみなく行っただけです。みなさんが、気持ちの良い学校生活を送れるようにと、学校内の環境整備に汗を流していただく学校の応援団がたくさんいてくれることはみなさんも既に知ってのとおりです。

このようにたくさんの支えの上に、今現在榛原中学校に在籍しているみなさんについては、これまでの伝統を確実に引き継ぐとともに、さらに素晴らしい榛原中を目指し、未来へつなげていくことが重要な役割になります。

これからの時代は、変化が激しく、先行きが不透明で、今ある職業の多くは数年先にはA Iが対応している時代になると言われています。学校の学びも、正解を正しく覚え答える時代から、何が正解かを見つけ出す時代へ大きく変わっていきます。

そんな新しいものを創造できる力を身に付けるためには、高いこころざしをもち、その達成に向けて、ひたむきに努力することが大切になってくるのではないのでしょうか。正に学校教育目標「こころざしを育てる」そのものだと感じます。

榛中生が高いこころざしをもち、その達成めざしががんばることが、今後の榛原中学校の安定・発展につながるはずですし、みなさん自身が胸を張って榛中の卒業生として様々な場面で活躍できるような人に成長することにつながるはずです。

今までの先輩方の多方面における活躍や地域のみなさんの温かな支えに対する感謝の念と今後榛中をさらなる飛躍につなげるためのキーワード  
「ありがとう そして 未来へ」

この言葉を胸に明日からの学校生活を全員で頑張っていくことを確認し合い式辞といたします。